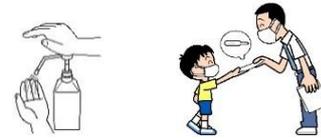


# 原道小学校感染対策7月版

養護教諭

## 1 感染対策1日の流れ



(1) 登校時に玄関前で手指消毒

(2) 健康観察

- 児童一人一人の体調を確認する。※げんきアップカードで体温未記入の者は、検温し記入させる。
- 児童の様子から必要な場合は早退の対応をとる。※保護者は校庭側から保健室へ迎えに行くように。
- 欠席・出席停止の扱い

① 出席停止とする

- ◇児童が陽性又は濃厚接触者 ※「新型コロナウイルス感染症聞き取りメモ」を活用。
- ◇ワクチン接種・副反応

② 登校を控えるようお願いする=但し保護者判断で登校も可とする (出席停止)

- ◇児童や同居家族に風邪症状がある場合
- ◇児童や同居家族がPCR検査を受ける又は受ける可能性がある場合
- ◇同居家族が濃厚接触者、



③ その他の感染不安=保護者判断(出席停止)例：登校することで感染するかもしれない不安

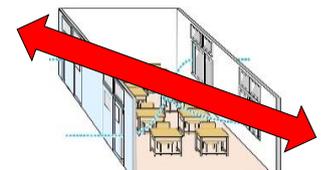
④ 病欠：けが、既往症等の通院

(3) 手洗い・手指消毒・マスク

- ハンカチ・ティッシュを身に付ける。忘れは貸し出し、マスクの紛失等は学校備品を渡す。

(4) 「3密」回避の徹底

- 少なくとも休み時間には、対角線上2方向の窓を全開(最低15cm)。
- 身体的距離が保てるような並び方や座席の向きに配慮する。



(5) フェイスシールドの着用と消毒

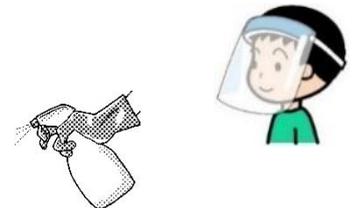
- 向かい合う活動をする際は、マスクとフェイスシールドを併用する。
- 音楽の授業等で楽器演奏に伴いマスクの着用が難しい場合は、身体的距離を保った上でフェイスシールドを活用する。※使用した日の下校前までに消毒する。

(6) 給食

- 机は向かい合わせず前向きにし、会話を控える。(歯みがきも同様に。)

(7) 放課後の消毒作業

- 日直はドアノブや階段手すり等、大勢が触れる箇所を消毒する。



## 2 学習活動

- 歌唱や調理実習は中止する。なお、今後の国や県、市の方針に基づき随時検討する。
- 集会等で全校が集まる場合は、外またはGoogle meet等でオンライン開催する。

## 3 感染者が発生した場合

- 保健所の指示に従い、行動歴の確認や消毒作業、臨時休業等を実施する。
- ガウン、ゴーグル、ヘアキャップ、シューズカバー、手袋、消毒液、抗原検査キット等は保健室保管済み。

## 4 教職員の健康管理

- 毎日検温し記録しておく。感染症予防に十分配慮し、体調がすぐれない場合は、無理をせず管理職へ連絡し休暇の対応をとる。出勤後に発熱等の風邪症状がある場合、抗原検査キットを使用してもよい。

## 5 熱中症予防の観点から

- マスク：登下校時や体育、RUNRUNタイムはマスクを外して実施する。

ポイントは「屋外か屋内か」「2メートル以上の距離が確保できるか」「会話の有無」

	身体的距離が確保できる(2m以上を目安)		身体的距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話を行う	要	不要	要	要
会話をほとんど行わない	不要	不要	要	不要

### ○冷房と換気

◇授業中：常時、対角線上2方向(校庭側と廊下側)のドアや窓を15cm程開ける。

◇休み時間：対角線上2方向の窓やドアを全開にし、空気を入れ換える。

※冷房の設定温度は28℃とする。